

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 4 区分

【発行日】平成 29 年 8 月 31 日 (2017.8.31)

【公開番号】特開 2015-190012 (P2015-190012A)

【公開日】平成 27 年 11 月 2 日 (2015.11.2)

【年通号数】公開・登録公報 2015-067

【出願番号】特願 2014-68445 (P2014-68445)

【国際特許分類】

C 2 2 C 5/04 (2006.01)

C 2 2 C 1/02 (2006.01)

【F I】

C 2 2 C 5/04

C 2 2 C 1/02 5 0 1 A

C 2 2 C 1/02 5 0 3 A

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 7 月 18 日 (2017.7.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

イリジウム又はイリジウム含有合金からなる金属線材であって、  
長手方向の任意断面における結晶粒数が  $0.25 \text{ mm}^2$  当たり 2 ～ 20 個であり、  
更に、任意部分のピッカース硬度が  $200 \text{ Hv}$  以上  $400 \text{ Hv}$  未満である金属線材。

【請求項 2】

長手方向の任意断面において、長手方向 (x) と長手方向に垂直な方向 (y) とのアスペクト比 (x / y) が 1.5 以上となる結晶粒が  $0.25 \text{ mm}^2$  当たり 20 個以下である請求項 1 記載の金属線材。

【請求項 3】

イリジウム合金は、白金、ルテニウム、ロジウム、ニッケルの少なくともいずれかを合計で 1 ～ 50 質量 % 含有するイリジウム合金である請求項 1 又は請求項 2 記載の金属線材。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 請求項 3 のいずれかに記載の金属線材の製造方法であって、  
底部にノズルを有する坩堝に収容された溶融状態のイリジウム又はイリジウム含有合金からなる原料である溶融金属に、育成結晶を坩堝底部から接触させ、  
前記育成結晶を坩堝の下方に一定速度で引き下げて、前記ノズルにより、底部から通過する前記溶融金属を冷却して凝固金属とすると共に、前記凝固金属を拘束しつつ通過させて成形して線材とする  $\mu$ -PD 法による金属線材の製造方法であって、  
前記溶融金属と前記凝固金属との固液界面が、前記ノズル上下方向の中央付近となるようにして育成結晶を引き下げる金属線材の製造方法。